

ひろば
大代

平成元11.5

大代公民館

ふれあい市民の対話集会

—ふるさとの活性を求めて—

大代公民館

市民の皆さんの生の声を聞き市政に反映させる「ふれあい市民対話の集い」が去る10月13日午後2時から公民館集會室に於て、市側12名、地元側85名が出席、活発な意見交換が行われました。

最初に大田市政のPR(ビデオ)が上映され市長挨拶から始まりました。

高令化する大田市の現状から(5人に1人)老人の福祉対策を、観光をもとにした地場産業の開発、土地基盤、道路などの整備事業、特に今年の課題となっている「ふるさと創生一億円事業」について個性的な皆さんの意見を承り事業の方向づけをしたい等、今日は建設的な話し合いの場としたい。——

続いて各部長から本年度市の重要施策が述べられた後、橋本館長の司会により話し合いが進められました。

最初に「秘境大代の里」大江高山の開発について想定した図柄により熱心な要望があり、次いで大田桜江線の早期着工に不安がある、速やかな工事促進をお願いしたい。

ふるさと創生については三〇〇万円事業の要請がありました。(これは毎年各町平等に三〇〇万円の創生資金を受け、住民の知恵と努力により、住民自らの手でふるさとの活性化を図る) 婦人部からは過去になされた婦人会活動の実状から農産加工施設の必要性活動資金など、都市交流事業資金を含めて要望が出されました。

そして自由意見の討議に移り、各代表から、或は個人的見地から質疑が次々と出され、若者の立場、老人の立場からと所定の時間をはるかに上回り、四時五十分頃終了しました。

今年冒頭に下市田迎孝さんより花束の贈呈があったり、和やかな中で盛會に終わったことを感じました。

尚当日の質疑や自治会要望事項に就いては、後日文書を以って正式に回答がなされる様になっています。

大田市町起こし創生

—三百万円事業について—

下市 田迎 孝

今、日本各地では、一億円ふるさと創生資金に住民参加の知恵がしぼられ、ふるさとの活性化へと発展しております。住民参加の政治が芽生えております。

私はこの過疎地大代町に住みましていつも未来に希望や夢が持てず、あきらめに近い心境で暮らしています。それは大変情けない悲しい心境と言えましょう。

だが只今、がぜんとあきらめてはいけない。今こそ、私の小さな願いが大田市全体にきつと幸せをもたらす声なき声であると信じて申し上げます。

私は大田市全体を見た時、三瓶の町はいいな。大森の町はいいなと思えます。なぜなら、市や県や国の保護政策の中で着々と良くなり繁栄と発展をしております。この事は大変よろこばしい事でありますが、つまるところは政治が、一極集中型で栄えるところは栄えて行く方法、政治です。

私は今こそ、政治に発想の転換がせ

まられているのではないかと思ひます。知恵が知恵を生産する方策、政策が必要ではないかと思ひます。

大田市には二十の町があります。竹下総理が一億円を配ったように、市長がどの町にも毎年三百万円の町起こし創生資金を配ることです。

「この資金であなたの町の歴史、伝統、文化、産業に生かして、独自の個性的な地域づくりをして下さい。」となれば、私達は早速若者を集め、また老いた人達も集めて、みんなで知恵をしぼり、生きやすい住みやすい環境へと発展させてまいります。魅力ある町へとしてみせます。それでこそ、大田市二十の町の生活環境は変わり、大田市全体の生活水準が一層高くなるものと信じます。

私は深化、拡充、統合という言葉が好きで、自分の成している仕事や生活にあてはめては生活を見直しております。

市長さん。どの町にも「自ら考え、自ら実践する」町へと仕掛けていく政治。またそれを統合していく政治にして下さい。今だ島根県では見られない

大任市だけの肌にくくもりの伝わる開かれた市政の実現をお願いします。

結論を申し上げます。

- (1)各町に町起こし三百万円の創生資金を毎年配って下さい。すると市として年間六千万円の支出となりますがその事を市として予算化し議会の承認を取りつけて頂きたいと思ひます。私達は三百万円の事業から、次の年の三百万円とつないでいく事を考え、基盤の拡大、拡充を計って過疎を生きさせたいと思ひます。婦人会の願う加工場も造ってあげられます。
 - (2)それが実現可能なら、各町に町起こし実行委員会を作り、その責任者を公民館長としては如何でしょうか。
 - (3)大江高山は大田市の財産です。これまで大森町への観光客は年々増えております。その人達を水上、祖式、大代へと足を延ばさせるには、大江高山の開発しかないと思ひます。市原氏も真剣に考えています。大田市の大江高山の財産を生かしてください。
- 最後に私は、地域の特性を生かした町づくりが進められる制度を設けてい

ただきたく市に議会に要望致します。

都市交流

「ふるさとへ温かい贈りもの」

大代公民館

毎年の様に郷土出身者在住の各都市から寄せられる温かい贈りもの、小學校児童への黄色い帽子、ランドセルカバーに始まり、中学校生徒への贈りものの資金、社協や各種団体への多額の御寄付、図書、物品、公民館へ届けられた数限りないはげましやお便り、心温まる嬉しい事の一つです。

今年も亦、先日、八幡宮修理事業に続いて、つい先日、小學校児童宛に東京石見高山会長田中憲経さんより約八十冊余りの新しい絵本や図書多数が送られて来ました。

幼児向き絵本、生徒向き図書、戦後戦後の日本の歴史など、社会科の勉強や同和教育にも最適の図書の数々、もう三十冊余りが貸し出しに出ています。ほんとうに有り難い事。

小學校も卓球クラブが全国大会出場（東京）に続いてのご援助、児童の換声が聞こえる様です。

さて十一月五日は東京石見高山会の総会です。既に自治会長さんを通じて御存じの事とは思いますが、皆さん出来る限り誘い合わせて御参加下さい。十一月四日(土)出発、車中を含めて三泊四日の予定、熱海、鎌倉の観光も兼ねている様です。

日本一の富士の姿もきつと見える事と思います。

あなたの一日は塩高?

それとも塩安?



大田保健所

円相場や株価の動きに関心を払うと同じように、体のほうの塩分の収支にもぜひ目をむけていただきたいと思えます。

食塩の成分であるナトリウムが血圧を左右し、水分調節に関係していることくらいは覚えていて下さい。

昔から日本人に多い脳卒中は高食塩でしかも、たんぱく質の少ない食事が長く続くと起こりやすいことが疫学調査の結果から言われています。現在、日本各地で減塩食の推進と共に良質たんぱく質の確保とバランスのよい食生

活改善が進められ、高血圧症による脳卒中が減少しつつあります。

日本人にとって、食塩を減らし血圧をコントロールすることは健康維持にとって欠かせないことです。大人一日の食塩量は10g以下が望ましいとされています。

心して減塩の努力が必要でしょう。

食品に含まれる塩分量

●酒の肴(1食20g程度あたり)	
うなぎ	3.5
カツオ塩辛	3.0
練りウニ	2.4
イカ塩辛	2.9
西京かつお	2.1
かつお(庄)	1.9
からあげ	0.9
●漬物(1食20g程度あたり)	
漬物の漬物	2.4
漬物の漬物	1.5
漬物の漬物	1.4
漬物の漬物	1.0

減塩食で努力する点で、もう一つ忘れてならないのは酒の肴として食べるものには塩分が多く含まれているということです。酒量と塩分量とが正比例

していませんか?
くれぐれもご注意を!

(記事大田保健所横田)

●つくだ漬(1食20g程度あたり)	
つくだ漬	2.5
つくだ漬	2.0
つくだ漬	1.8
●汁物(わん/杯あたり)	
湯汁	1.5
わかめスープ	1.4
みそ汁	1.2
すまし汁	1.0
ポタージュ	0.9
●めん類(1人分あたり)	
ちゃんシューめん	5.7
めん類(うどん)	5.3
めん類(そば)	4.8
めん類(うどん)	3.8

総挫(ねんざ)

日赤応急手当と処置

手首、指、膝など、関節がはずれかかってもとに戻ったものです。

①やたらにもんだり、さすったりしないこと。

②患部を冷水または水のうで冷やします。手は吊り、足は座布団や枕の上に乘せて高くし包帯や三角巾

て固定し安静にします。
 ③骨折も同時に起こしていることがあるので十分に注意します。
 ④患部を動かさない様にして、早めに医師の診察を受けましょう。

紅葉の秋・スポーツの秋
 大代中学校大活躍



去る十月十八日(水)大田市中学校新人卓球大会は一中屋体に於て行なわれ大代中学校は孤軍奮闘大活躍を致しました。

◆女子団体

優勝 大代中学校

◆男子シングルス

優勝 大代中学校 丹後真也

(1~4回戦 準決勝、決勝迄 すべてストレート勝ち)

◆女子シングルス

優勝 大代中学校 山下陽子

(1~3回戦 準決勝、決勝迄 すべてストレート勝ち)

森千晶 渡和美 共三位

◆女子ダブルス

優勝 大代中学校

原田、竹内組

(予選リーグを含めストレート勝ち)

夏休みの後半から二学期にかけての大田市内中学生の各種作品の審査や、コンクールが行われ、大代中学校生徒の作品は特選や優秀賞を次々と獲得、立派な成績が得られました。

★市読書感想文コンクール

特選 一席 一年 山下陽子さん

(手巾を)読んで

特選 二年 笹木政志君

(羅生門)を読んで

入選 三年 竹間裕二君

(僕の料理の先生は)

★市人権作文コンクール

優秀賞 一年 山根和人君

(僕が姉にするべきこと)

佳作 二年 丹後真也君

(挨拶とは人を認めること)

★市中学校弁論大会(於志学中)

優良賞 三年 山下義博君

★市・迄摩群科学作品展

特選 一年 山根和人君

特選 共同研究 二年 丹後真也君

一年 森田竜士君

★市中学校技科作品展

入選 一年 渡利勝彦君

入選 竹間裕二君、山下義博君

入選 森田竜士君 武田順子さん
 山下春美さん 原田亜紀子さん

11月少年健全育成指導
 人も物も大切に
 する子
 に育てよう

◎おしらせ

◆役員改選 九月末日任期満了に伴う大田市消防団大代分団長及び本部役員の改選があり、次の様に決定致しました。

分団長 中垣昌文
 副 竹本 謙
 本部々長 井谷英美

大代町文化祭
 日時 11月12日 (日)
 場所 大代公民館・広場
 大代中学校体育館
 皆さん、多数御出かけ下さい。

